

[06_05]九州大学大型計算機センター広報 : 6(5)

<https://doi.org/10.15017/1468029>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 6 (5), pp.1-33, 1973-10-22. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

投稿のしおり

センターでは利用者の方々とより深い交流をはかるため、次のような種類の原稿を募集しています。

1. 随想
2. 計算機を利用して行なった研究・開発の紹介
3. プログラムの実例と解説
4. センターに対する質問・要望
5. 利用者の声
6. その他広く計算機に関すること

原稿の掲載については広報教育委員会で検討させていただきます。

なお、寄稿時にご希望があれば、別刷り（30部以内）を贈呈いたします。

その他投稿に関するお問合せは共同利用掛（Tel. 2256）へどうぞ。

原稿の送付先は次のとおりです。

福岡市東区箱崎3576番地(〒812)

九州大学大型計算機センター共同利用掛

編集後記

広報 Vol.6 No.5 をお届けします。

学会シーズンを迎え、ここ九大センターの周辺もなにかしら人の出入りが激しいように思われます。ところで、毎年計算機の処理件数は増加の傾向にありますが、これを一年間のジョブ処理件数の変動でみると、年度末に近づくにつれて、増えていきます。因みに、47年度をみると、ローカルバッチで、4・5月が約5,000件、8月6,700件、7・9・10月が7,000件、12・1月が約10,000件、2月13,300件、3月7,000件となっています。TSSの処理件数を加えると、さらに増えることになります。センターでは、11月から、本格的に夜間処理を始める予定ですが、そのさい TSS の方は、上の件数、およびセンター側の都合により、見送ることになりそうです。

11月下旬導入予定のグラフィック・ディスプレイの実験グループを募集しています（10月31日まで）。実験期間は3月までで、ファイルは各個人のものを使用していただくことになります。

最近、全国的に紙不足が深刻な問題のようですが、弱小企業たる大学の計算機センター、室等は、用紙、カードの確保に大きな注意を払うこととなります。用紙の経済的な利用方法、あるいは、紙を使わない I/O の方法など、なにかよい知恵はないものでしょうか。

(S. T 記)